

第1次柳川市総合計画 概要版

生きがいと
活力に満ち
自然と共生する
住みよいまち
を目指して



平成19年2月
福岡県柳川市



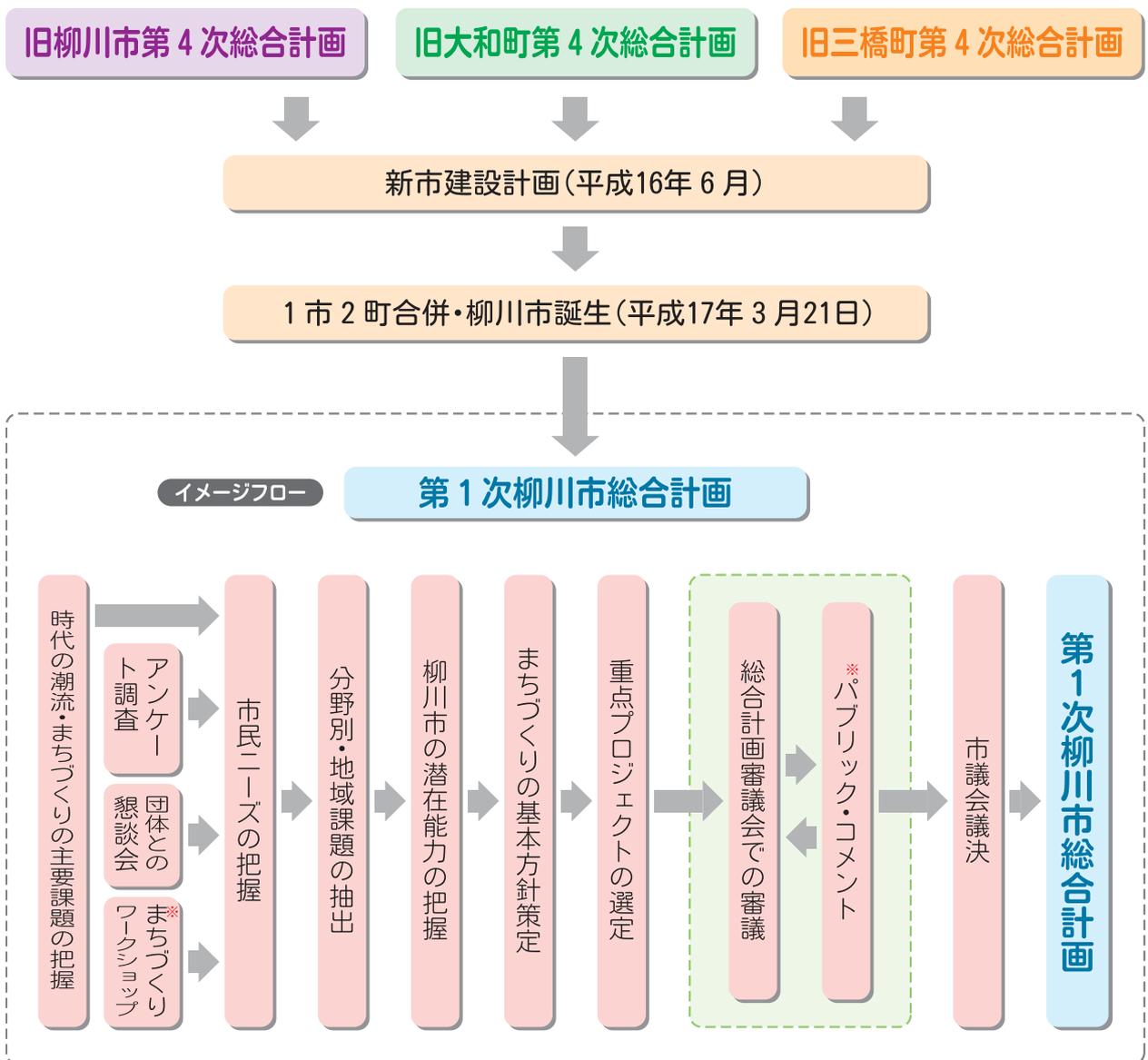


計画策定の目的

柳川市は、平成17年3月21日に、旧柳川市、旧大和町、旧三橋町が合併して誕生しました。

第1次柳川市総合計画は、旧1市2町の合併の際に策定した「新市建設計画」の考え方を基本にそれぞれの歴史や伝統文化、特性を生かしながら、新市の一体感を醸成し、目指すべき「まちの将来像」の実現に向けた、これから10年間のまちづくりの設計図を示すために策定しました。

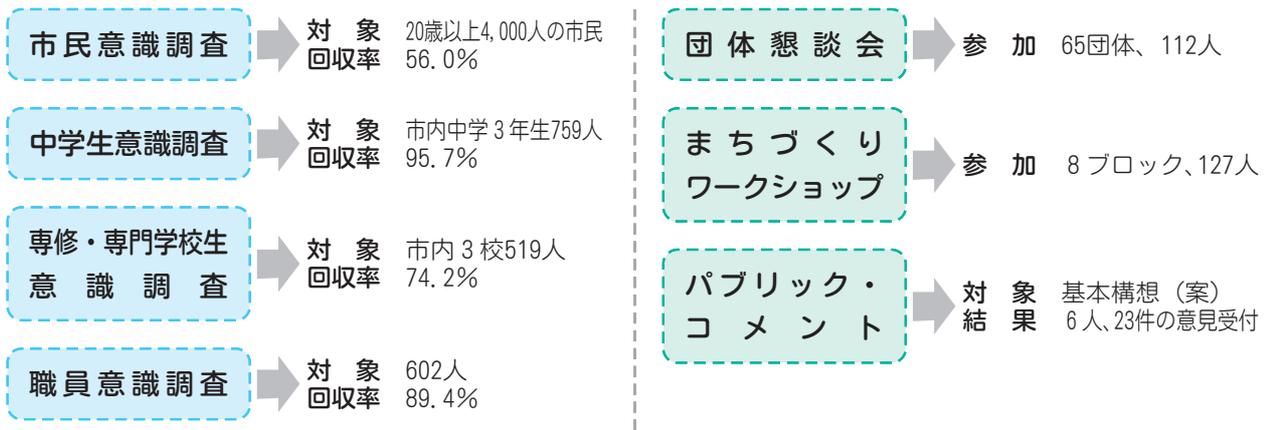
計画策定の考え方



※まちづくりワークショップとは…
まちづくりをテーマに、調査活動、資源の発見、課題の設定、実現のための仕組みの検討などを行う集まりのことをいいます。

※パブリック・コメントとは…
市民参画の促進と市政の透明性向上を図るため、市の施策などを策定過程において、事前に案を公表し、市民誰もが意見を述べる機会を設け、その意見に対する市の考え方を公表する手続きのことをいいます。

市民参画による計画づくり



計画の構成と期間

計画は、基本構想、基本計画、実施計画からなり、期間は平成28年度までの10年間です。

基本構想

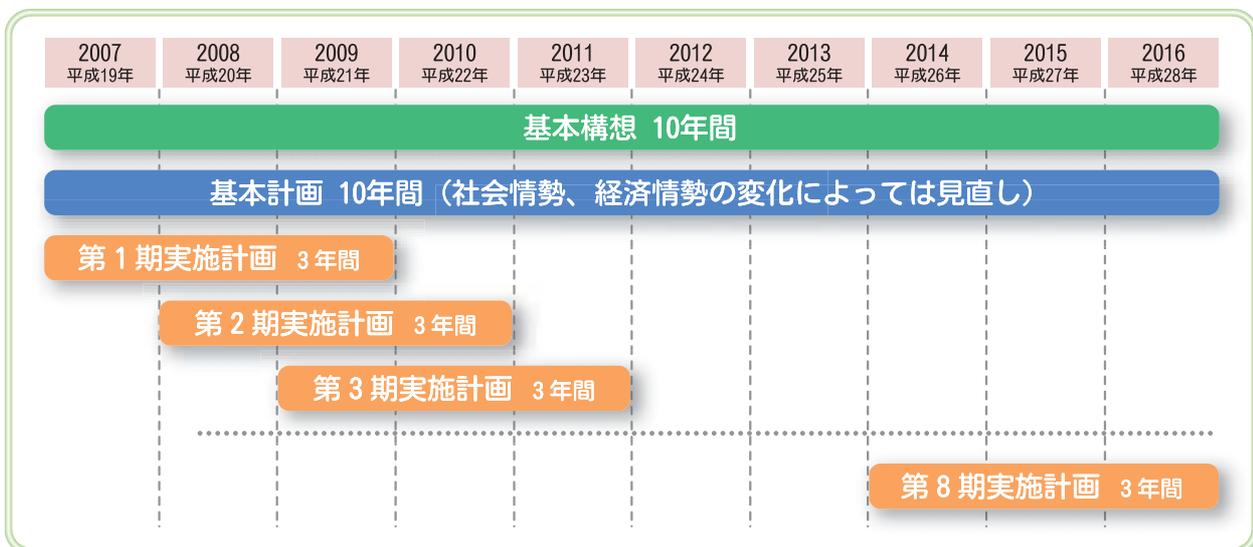
本市の目指すべき姿（将来像）を描き、まちづくりの基本方向や施策の大綱、重点プロジェクトなどを長期的な視点から明らかにしたものです。

基本計画

基本構想に描く将来像を具体化するための基本的な方針や施策などをまちづくりの分野と行財政分野ごとに明らかにしたものです。

実施計画

基本計画に掲げた施策について、実際の行財政運営の中でどのように計画的で具体的に進めていくのかを短期的な視点から明らかにし、毎年度見直します。





まちの将来像

基本理念

水・人・歴史を育み、 未来を拓くまちづくり

個性と魅力ある、美しい郷土を誇りに思う“こころ”を大事にします。

創造と活力にあふれ、 賑わいのあるまちづくり

歴史の中で育まれた創造力と活力、広域交通の便利さを生かし、豊かで賑わいのあるまちづくりを進めます。

将来像

生きがいと活力に満ち 自然と共生する住みよいまち

心の豊かさが、市民一人ひとりに生きがいをもたらし、地域の活力の源になることを目指します。

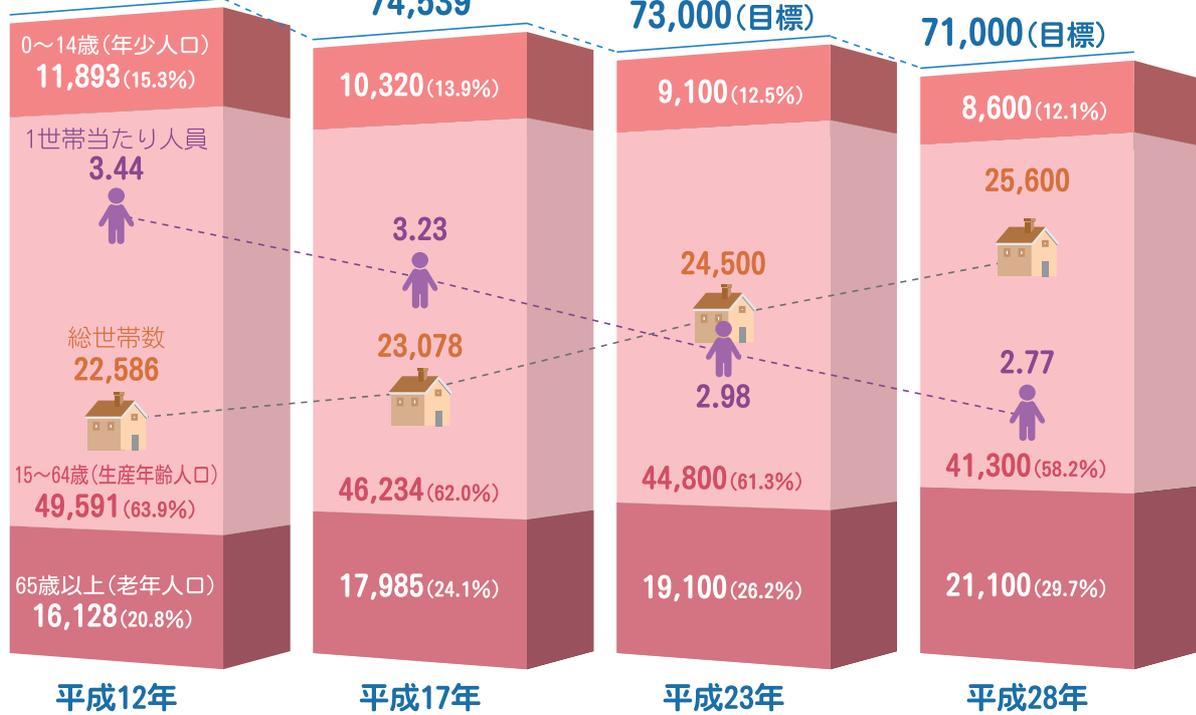
また、生活の潤いと活力が、海、河川、水路（掘割）、田園といった自然との共生を通して、このまちに“住んでよかった”という気持ちにつながるような、そんな個性と魅力のあるまちづくりを進めます。



平成28年の目標人口は71,000人

人口推計では、平成28年の総人口は67,500人となる予想ですが、さまざまな事業を実施して71,000人を目標人口とします。

総人口 77,612



▶人口構造の変化

昭和50年(1975年)

平成17年(2005年)

